

詳細設計書

病名検索システム
詳細設計書 - ActiveXコントロール

2002年02月27日 第1.2版

1	はじめに	1
1.1	本ドキュメントについて	1
1.2	背景	1
2	開発環境	2
2.1	開発言語、開発環境	2
2.2	病名基本 DB アクセスの属性.....	2
3	機能概要	3
3.1	プログラム構成	3
3.2	表記	3
4	病名検索 ACTIVEX CONTROL	4
4.1	使用方法	4
4.2	コントロール一覧.....	5
4.3	エラー処理に関して.....	5
4.4	メソッドに関して.....	5
4.5	フォントサイズ	6
4.5.1	スタイル一覧.....	6
4.6	共通プロパティ.....	6
4.7	コントロール単位.....	6
4.8	動作環境.....	6
4.9	病名ツリー検索ビュー	7
4.9.1	コントロール構成	7
4.9.2	コントロール設定	7
4.9.3	イベント処理.....	7
4.9.4	TreeViewSearch.....	8
4.10	病名キーワード検索ビュー	9
4.10.1	コントロール構成.....	9
4.10.2	コントロール設定.....	9
4.10.3	イベント一覧.....	9
4.10.4	ListViewSearch.....	10
4.11	病名自由検索ビュー	11
4.11.1	コントロール構成.....	11
4.11.2	コントロール設定.....	11
4.11.3	イベント一覧.....	11
4.11.4	ListViewSearch.....	12

4.12	類似病名検索ビュー	13
4.12.1.	コントロール構成	13
4.12.2.	コントロール設定	13
4.12.3.	イベント一覧	13
4.12.4.	ListviewSearch	13
4.13	病名パネル	14
4.13.1.	コントロール構成	14
4.13.2.	病名	14
4.13.3.	病名交換用コード、ICD10、レセ電算コード	14
4.13.4.	コントロール設定	14
4.13.5.	イベント一覧	15
4.13.6.	AddDisease	15
4.13.7.	AddModifier	15
4.13.8.	DeleteModifier	15
4.13.9.	GetDiseaseValue	15
4.13.10.	GetDiseaseCodeAfter	15
4.13.11.	GetDiseaseCodeBefore	15
4.13.12.	GetICD10	16
4.13.13.	GetReseCode	16
4.13.14.	GetSelection	16
4.13.15.	GetDiseaseID	16
4.13.16.	GetModifierIDs	16
4.13.17.	CreatePanel	16
4.14	良く使う修飾語ビュー	18
4.14.1.	コントロール構成	18
4.14.2.	コントロール設定	18
4.14.3.	イベント一覧	18
4.14.4.	ListviewSearch	18
4.15	修飾語ツリー検索ビュー	19
4.15.1.	コントロール構成	19
4.15.2.	コントロール設定	19
4.15.3.	イベント一覧	19
4.15.4.	TreeViewSearch	20
4.16	修飾語キーワード検索ビュー	21
4.16.1.	コントロール構成	21
4.16.2.	コントロール設定	21

4.16.3.	イベント一覧.....	21
4.16.4.	ListViewSearch.....	21
4.17	修飾語部位検索ビュー.....	22
4.17.1.	コントロール構成.....	22
4.17.2.	コントロール設定.....	22
4.17.3.	イベント一覧.....	22
4.17.4.	ImageChange.....	22
4.18	基本修飾語パネル.....	23
4.18.1.	コントロール構成.....	23
4.18.2.	コントロール設定.....	23
4.18.3.	イベント一覧.....	23
5	改訂履歴.....	24

1 はじめに

1.1 本ドキュメントについて

本書は「病名検索システム」の「DB 基本アクセスライブラリ」のインターフェース部に関する詳細設計を記述したものである。

1.2 背景

各病院では現在、病院情報システムが導入されている。病院情報システムでは、病名を登録する必要があるが、システムの目的は保険請求のためであり、各医師が自由な表現で入力している。

例)

胃がん、胃ガン、胃癌、XXX 性胃癌

これは、保険請求上は問題ないが、研究として後に集計/分析することが出来ない。

また、東大病院等では、病名入力の際にマスタからも選択可能とし、そのコードもシステムに保持しているが、このマスタは、厚生省 保険局作成のものであり、WHO の国際分類コード(ICD-10)との整合性が不十分である。

一方、厚生省 医療政策局では、各病院に診療情報士を置き、少なくとも退院した患者には国際分類コードを振るよう指導している。また、WHO に準拠したマスタ(約 30,000 語)を 4 年くらい前に Version1 としてリリースしているが、修飾語無く使われていない。

今回このマスタの改訂作業を行うことになり、3/末にベータリリース予定である。そこで、このマスタを使用して検索するユーザインタフェースとライブラリ群および、ユーザインタフェースとライブラリ群を使用したサンプルアプリケーションを開発する。

2 開発環境

2.1 開発言語、開発環境

本システムの開発言語、開発環境として以下のものを使用する。

開発環境	備考
Microsoft Visual C++ Enterprise Edition Ver6.0 + SP5	MFCを使用する。 MFCライブラリは「共有DLLでMFCを使用」を使用する。

2.2 病名基本 DB アクセスの属性

本 ActiveXDLL は以下のファイル名、およびオブジェクト名で他のアプリケーション、または ActiveX からアクセス可能とする。

ファイル名	MedSCtrl.ocx
ライブラリ名	FXISMedicalControl
クラス名	各コントロール名称

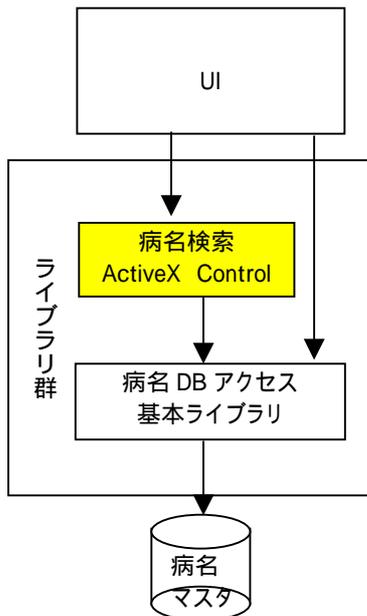
例)VB の場合

```
Dim x as FXISDiseaseSearchCtrlLib.MedicalSearch
Set x = CreateObject("FXISDiseaseSearchCtrlLib.MedicalSearch")
```

3 機能概要

3.1 プログラム構成

今回、開発するソフトの基本部分は各病院で病院情報システムに組み込むときに使用できるよう、ライブラリ群として提供する。



実際に病名検索 ActiveX を使用して作成したサンプル事例アプリケーション。VB または VC で作成する。病名の検索方法はツリー検索、キーワード検索、修飾語の検索方法はキーワード検索、部位検索、ツリー検索とする。

基本的な検索機能および UI 機能を保持する。VB または VC のフォームに直接貼り付けられるよう、ActiveX コントロール DLL として提供する。

病名マスタを検索するためのプリミティブな機能を ActiveX DLL として提供する。インターフェースは公開するため直接このライブラリをコールすることも可能とする。病名コードの変換、大文字・小文字変換、異字体変換などのユーティリティ的な機能も提供する。

病名テーブル(30,000 件)、階層関係テーブル、修飾語テーブル(5,000 件)、キーワードテーブル等の 4~5 のテーブルから構成される。独自ファイル形式で保持する。

3.2 表記

本ドキュメントでは以下の表記を使用する。

病名 ID: 病名(分類)の階層項目区分 + 病名(分類)の階層項目 ID

病名パス: 病名 ID の階層構造を表したパスのこと。「¥病名 ID¥病名 ID + ...」

修飾語 ID: 修飾語(分類)の階層項目区分 + 修飾語(分類)の階層項目 ID

修飾語パス: 修飾語 ID の階層構造を表したパスのこと。「¥修飾語 ID¥修飾語 ID + ...」

4 病名検索 ActiveX Control

4.1 使用方法

各 ActiveX コントロールは、表示処理機能だけを持っており、検索は基本ライブラリを使用する。そのため各コントロールへ初期化した基本ライブラリオブジェクトを渡す必要がある。また各コントロールは単独で動作するため、他の ActiveX コントロールとの連携を行う必要がある場合、各アプリケーション自身がその処理を担わなければならない。

例) 病名検索 ActiveX の病名パネルコントロール、病名ツリー検索コントロールを使用して検索画面を作成した場合

基本ライブラリの初期化(各アプリケーション側の処理)

病名パネルコントロールへ基本ライブラリオブジェクトを渡す。(各アプリケーション側の処理)

病名ツリー検索コントロールへ基本ライブラリオブジェクトを渡す。(各アプリケーション側の処理)

病名ツリー検索コントロールの検索実行メソッドを呼び出す。(各アプリケーション側の処理)

病名ツリー検索コントロールは渡された基本ライブラリを使用して検索実行しツリーを表示する。

アプリケーションの「選択」ボタン押下により、病名ツリー検索コントロールから選択されている病名交換用コードを取得し、病名パネルコントロールへ取得した病名交換用コードを渡す。(各アプリケーション側の処理。修飾語も同様)

病名パネルコントロールは渡された病名交換用コードと渡された基本ライブラリを使用して正規化処理を行い、病名、病名交換用コード(正規化前、正規化後)、ICD - 10コード、およびレセ電算コードを表示する。

4.2 コントロール一覧

本システムで作成するコントロール一覧を記述する。

以下のコントロールでは MSCOMCTL ライブラリのコントロールを使用している箇所があるが、MSCOMCTL 自体の機能に関する記述は省略する。詳細が知りたい場合、MSCOMCTL.OCX のドキュメントを参照すること。

項番	コントロール	Control 名	概要
1	病名ツリー検索ビュー	DiseaseTreeSearchView	病名ツリー検索結果をツリー表示する。
2	病名キーワード検索ビュー	DiseaseKeywordSearchView	病名キーワード検索結果をリスト表示する。
3	病名自由検索ビュー	DiseaseFreeSearchView	病名自由検索結果をリスト表示する。
4	類似病名検索ビュー	DiseaseResembleSearchView	類似病名検索結果をリスト表示する。
5	病名パネル	DiseasePanel	選択された病名および修飾語をリスト表示する。
6	修飾語ツリー検索ビュー	ModifierTreeSearchView	修飾語ツリー検索結果をリスト表示する。
7	修飾語キーワード検索ビュー	ModifierKeywordSearchView	修飾語キーワード検索結果をリスト表示する。
8	部位修飾語検索ビュー	PartModifierSearchView	部位修飾語部位画像の表示、検索結果をリスト表示する。
9	良く使う修飾語ビュー	ConnectiveModifierSearchView	良く使う修飾語の検索結果をリスト表示する。
10	基本修飾語パネル	BasicModifierPanel	基本修飾語を選択するボタンを表示する。

4.3 エラー処理に関して

各コントロールのメソッドは、0(正常終了)、または1(失敗)のどちらかを戻り値として返す。

4.4 メソッドに関して

メソッドは、詳細説明が必要なもののみ記述している。全てのメソッドの一覧は、基本設計書を参照のこと。

4.5 フォントサイズ

各コントロールのフォントサイズは MS ゴシック、9 Point、標準スタイルを基準として作成する。(以降基本フォントタイプとする。)

4.5.1. スタイル一覧

タイプ	スタイル
基本フォントタイプ	MS ゴシック 9 Point 標準スタイル
強調フォントタイプ	MS ゴシック 9 Point 太字スタイル

4.6 共通プロパティ

各コントロールは以下のプロパティを持つ。

項番	本コントロール内でのプロパティ名	使用コントロール内でのプロパティ名	型	規定値
備考				
1	xxxxForeColor	ForeColor	Integer	Listview: 白 その他: 黒
	コントロールの ForeColor TreeView、Image は設定不可			
2	xxxxBackColor	BackColor	Integer	Windows のシステム設定
	コントロールの BackColor TreeView、Image は設定不可			
3	xxxxFont	Font		ラベル: 強調フォントタイプ その他: 標準フォントタイプ
	コントロールの Font 設定 Image は設定不可			

xxxx は各コントロールの名称

4.7 コントロール単位

コントロール単位は twip を用いて記述する。1twip は 143 ピクセルとする。

4.8 動作環境

ActiveX コントロールは以下の環境で正しく動作するように作成する。

1	画面の色	High Color (16bit)
2	画面のフォントサイズ	小さいフォント
3	スクロールバー	16
4	アクティブウィンドウの境界	1

4.9 病名ツリー検索ビュー

4.9.1. コントロール構成



4.9.2. コントロール設定

コントロール	属性	値(単位 twip)
TreeView	高さ	5730
TreeView	幅	6855
TreeView	Indentation	150

4.9.3. イベント処理

項番	イベント	アプリ イベント名	処理
1	DbfClick		TreeViewSearch を実行する。
2	Click	Click	病名区分文字列 (PrStrDiseaseResultPath) に、セレクションされた病名の病名パス(セレクションされた病名も含める)をセットする。 アプリイベントを投げる。
3		KeyDown	カーソルの左キー、右キーの場合、TreeViewSearch を実行する。 カーソルの上キー、下キーの場合、病名区分文字列 (PrStrDiseaseResultPath) に、セレクションされた病名の病名パス(セレクションされた病名も含める)をセットする。

4.9.4. TreeViewSearch

条件によって以下の処理を行う。

- ・下位階層のあるノードをダブルクリックした場合
選択されたノードまでの病名パスおよびその他の条件を引数として病名基本 DB アクセスの GetDiseaseNode を呼び出す。
- ・最下層のノードをダブルクリックした場合
何もしない。
- ・開いている1つ上の階層をダブルクリックした場合
1つ上の病名パスおよびその他の条件を引数として病名基本 DB アクセスの GetDiseaseNode を呼び出す。

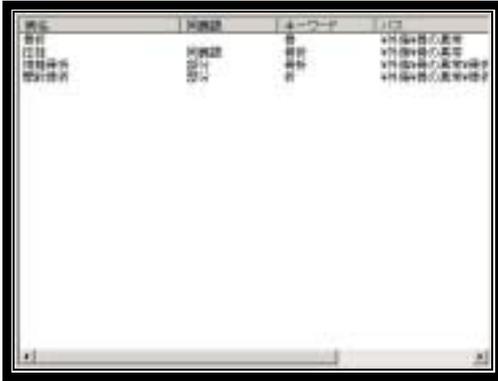
検索結果を取得し、ツリーを生成する。(採択区分、階層項目区分よりアイコンを選択する。)

(ただし検索結果は、対象病名直下の層のデータだけが取得できるので、それ以前のツリー情報はコントロール側で保持しておく必要がある。)

- ・ツリーの表示名称は病名表記とする。
 - ・名称表示のフォーマットは、採択区分およびプロパティの状態により決定される。
- ダブルクリックされた病名をセクション状態にする。

4.10 病名キーワード検索ビュー

4.10.1. コントロール構成



4.10.2. コントロール設定

コントロール	属性	値(単位 twip)	セル名
ListView	高さ	4980	
ListView	幅	6855	
列見出し 1	幅	2500	病名
列見出し 2	幅	1500	同義語
列見出し 3	幅	1500	キーワード
列見出し 4	幅	5000	パス

4.10.3. イベント一覧

項番	イベント	アプリ イベント名	処理
1	DbClick	DbClick	アプリイベントを投げる。
2	Click	Click	セレクションされた病名の病名パス(自分も含める)を PrStrDiseaseResultPath に設定する。 アプリイベントを投げる。

4.10.4. ListViewSearch

病名基本 DB アクセスの SearchDiseaseKeyword を呼び出す。

検索結果を元にリストを作成する。

・同義語区分により同義語カラムに表示する文言を決定する。

・表示する順番

病名 - 同義語 - キーワード - パス

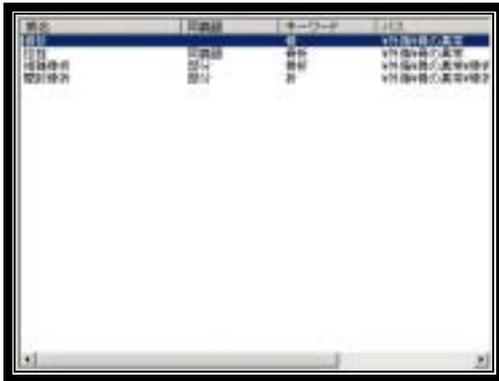
・病名の表示には病名表記を使用する。

・件数超 = True の場合

最下行の病名欄に「x件以上データがあります。」を表示する。(x は最大検索件数)

4.11 病名自由検索ビュー

4.11.1. コントロール構成



4.11.2. コントロール設定

コントロール	属性	値(単位 twip)	セル名
ListView	高さ	5775	
ListView	幅	6855	
列見出し 1	幅	2500	病名
列見出し 2	幅	1500	同義語
列見出し 3	幅	1500	キーワード
列見出し 4	幅	5000	パス

4.11.3. イベント一覧

項番	イベント	アプリ イベント名	処理
1	DbClick	DbClick	アプリイベントを投げる。
2	Click	Click	セレクションされた病名の病名パス(自分も含める)を PrStrDiseaseResultPath に設定する。 アプリイベントを投げる。

4.11.4. ListViewSearch

病名基本 DB アクセスの SearchDiseaseKeyword を呼び出す。

検索結果を元にリストを作成する。

- ・同義語区分により同義語カラムに表示する文言を決定する。

- ・表示する順番

病名 - 同義語 - キーワード - パス

- ・病名の表示には病名表記を使用する。

- ・件数超 = True の場合

最下りの病名欄に「x件以上データがあります。」を表示する。(x は最大検索件数)

4.12 類似病名検索ビュー

4.12.1. コントロール構成



4.12.2. コントロール設定

コントロール	属性	値(単位 twip)	セル名
ListView	高さ	1650	
ListView	幅	5115	
列見出し 1	幅	2500	病名
列見出し 2	幅	5000	パス

4.12.3. イベント一覧

項番	イベント	アプリ イベント名	処理
1	DbIclick	DbIclick	アプリイベントを投げる。
2	Click	Click	セレクションされた病名の病名パス(自分も含める)を PrStrDiseaseResultPath に設定する。 アプリイベントを投げる。

4.12.4. ListViewSearch

病名基本 DB アクセスの SearchResembleDisease を呼び出す。

検索結果を元にリストを作成する。

- ・同義語区分により同義語カラムに表示する文言を決定する。
- ・表示する順番
- 病名 - パス
- ・病名の表示には病名表記を使用する。

4.13 病名パネル

4.13.1. コントロール構成



4.13.2. 病名

病名欄は、病名、修飾語が追加される度に、その病名、または修飾語を表示するためのコントロールが追加される。

このコントロールは、アプリ側からどの病名、または修飾語のコントロールが選択されたかを判断する。

また選択されたコントロールの背景を黄色にし、その他のコントロールを規定の色に戻す。

4.13.3. 病名交換用コード、ICD10、レセ電算コード

この3つのコントロールは名称ラベルを含めて非表示にすることが可能であるが、非表示にするだけで値の取得は行えるようにする。

4.13.4. コントロール設定

コントロール	属性	設定/値(twip)	Caption
病名ラベル	幅	文字幅に合わせる (label.AutoSize=true)	病名
病名ラベル	Left	1200	
病名交換用コードラベル	幅	文字幅に合わせる (label.AutoSize=true)	病名交換用コード
病名交換用コードラベル	Left	120	
ICD10 ラベル	幅	文字幅に合わせる (label.AutoSize=true)	ICD10
ICD10 ラベル	Left	960	
レセ電算コードラベル	幅	文字幅に合わせる (label.AutoSize=true)	レセ電算コード
レセ電算コードラベル	Left	240	
基本設計書 項番「5」のコントロール	幅	文字幅に合わせる (label.AutoSize=true)	
基本設計書 項番「6」のコントロール	幅	文字幅に合わせる (label.AutoSize=true)	
基本設計書 項番「7」のコントロール	幅	文字幅に合わせる (label.AutoSize=true)	
基本設計書 項番「8」のコントロール	幅	文字幅に合わせる (label.AutoSize=true)	

コントロール	属性	設定/値(twip)	Caption
基本設計書 項番「5」、「6」、「7」 「8」のコントロール (ViewLeft) (共通で使用する)	Left	1800	

4.13.5. イベント一覧

項番	イベント	アプリ イベント名	処理
1	DbClick	DbClick	アプリイベントを投げる。
2	Click	Click	選択された病名、または修飾語を反転表示する。

4.13.6. AddDisease

病名をパネルに設定し、CreatePanel を呼び出す。

4.13.7. AddModifier

すでに同一の修飾語 ID を持つ修飾語が登録されていないかチェックを行う。

すでに登録されていた場合、エラーID「250091」を設定し処理を中止する。

病名 DB 基本アクセスの CheckExclusive を呼び出し、True の場合、次を実施する。

修飾語を追加し、CreatePanel を呼び出す。

4.13.8. DeleteModifier

現在選択されている修飾語を削除し、CreatePanel を呼び出す。

ただし選択されているコントロールが病名であった場合、病名、全ての修飾語を削除する。

4.13.9. GetDiseaseValue

病名欄に表示されている文字列をすべて連結して返す。

4.13.10. GetDiseaseCodeAfter

正規化後のコードを返す。

「病名」または「+病名交換用コード+修飾語コード+修飾語コード…」

4.13.11. GetDiseaseCodeBefore

正規化前のオリジナルのコードを返す。

「病名」または「+病名交換用コード+修飾語コード+修飾語コード…」

4.13.12. GetICD10

正規化後の病名 ID の ICD10 コードを返す。

ICD10-1 コード(;ICD10-2 コード)

ICD10-2 コードは設定されていた時のみ。

4.13.13. GetReseCode

正規化後の病名 ID のレセ電算コードを返す。

4.13.14. GetSelection

現在選択されている病名、または修飾語の ID を返す。

選択されていない場合は、ブランクを返す。

4.13.15. GetDiseaseID

現在パネルに設定されている病名の病名 ID を返す。

設定されていない場合は、ブランクを返す。

4.13.16. GetModifierIDs

現在パネルに登録されているすべての修飾語をリスト形式で返す。

4.13.17. CreatePanel

現在保持している、病名 ID、修飾語 ID を元に、病名基本 DB アクセスの GetNormalizationDiseaseCode を呼び出す。

以下の処理を行う。

・病名(表示する内容は病名表記、または修飾語表記)

各修飾語の接続位置区分を元に、病名に前置するか、後置するか判断を行う。

接続位置区分が 00 ~ 09 の場合は病名に後置、左記以外は病名に前置。(ただし基本修飾語は必ず最左端)

修飾語は、左から接続位置区分の値が最大のものから並び、(接続位置区分が同一のものが複数あった場合、修飾語コードの昇順で並べる。)

基本修飾語は1つしか付加することができないため、別の基本修飾語が付加される場合、既存の基本修飾語は削除する。

・病名交換用コード(表示する内容は病名交換用コード、または修飾語コード)

正規化前のコードと置き換え後のコードが同一であったとしても以下のように表示する。

表示形式は以下のとおり

修飾語が付加されていない場合

正規化後の病名交換用コード(正規化前の病名交換用コード)

修飾語が付加されている場合

+正規化後の病名交換用コード+正規化後の修飾語コード+・・・(+正規化前の病名交換用コード+正規化前の修飾語コード+・・・)

修飾語コードは昇順でソートして表示する。

・ICD10 コード(表示する内容は ICD10-1、および必要に応じて ICD10-2)

正規化後の病名を元に ICD10 コードを表示する。

表示形式は以下のとおり

ICD10-2 が設定されていた場合

ICD10-1;ICD10-2

ICD10-2 が設定されていない場合

ICD10-1

・レセ電算コード(表示する内容はレセ電算コード)

正規化後の病名を元にレセ電算コードを表示する。

4.14 良く使う修飾語ビュー

4.14.1. コントロール構成



4.14.2. コントロール設定

コントロール	属性	値(単位 twip)
ListView	高さ	3090
ListView	幅	4950
ComboBox	幅	2160

4.14.3. イベント一覧

項番	イベント	アプリ イベント名	処理
1	ListViewDbClick	DbClick	アプリイベントを投げる。
2	ListViewClick	Click	修飾語の修飾語 ID を PrStrModifierID に設定する。 アプリイベントを投げる。
3	ComboChange	Change	ListViewSearch を呼び出す。 アプリイベントを投げる。

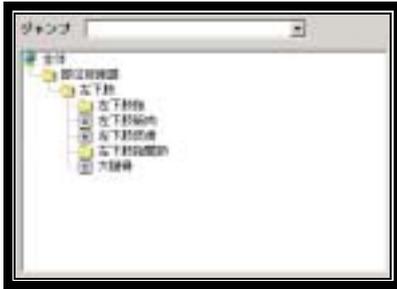
4.14.4. ListViewSearch

病名基本 DB アクセスの SearchConnectiveModifier を呼び出す。

修飾語表記を表示する。

4.15 修飾語ツリー検索ビュー

4.15.1. コントロール構成



4.15.2. コントロール設定

コントロール	属性	値(単位 twip)
TreeView	高さ	2970
TreeView	幅	4905
Listview	Indentation	150
ComboBox	幅	2835

4.15.3. イベント一覧

項番	イベント	アプリ イベント名	処理
1	TreeViewDbClick	DbClick	TreeViewSearch を呼び出す。(引数は必ず修飾語パスを使用する) アプリイベントを投げる。
2	TreeViewClick	Click	セレクションされている修飾語の修飾語 ID を PrStrModifierID に設定する。 アプリイベントを投げる。
3	ComboChange	Change	TreeViewSearch を呼び出す。(引数は必ず修飾語IDを使用する) アプリイベントを投げる。
3		KeyDown	カーソルの左キー、右キーの場合、TreeViewSearch を実行する。 カーソルの上キー、下キーの場合、セレクションされている修飾語の修飾語 ID を PrStrModifierID に設定する。

4.15.4. TreeViewSearch

条件によって以下の処理を行う。

- ・下位階層のあるノードをダブルクリックした場合
選択されたノードまでの修飾語パスおよびその他の条件を引数として病名基本 DB アクセスの GetModifierNode を呼び出す。
- ・最下層のノードをダブルクリックした場合
何もしない。
- ・開いている1つ上の階層をダブルクリックした場合
1つ上の修飾語パスおよびその他の条件を引数として病名基本 DB アクセスの GetModifierNode を呼び出す。

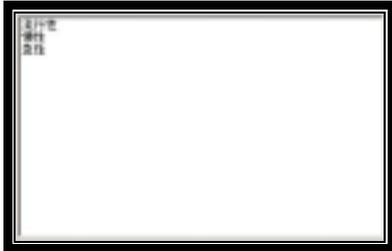
検索結果を取得し、ツリーを生成する。(階層項目区分よりアイコンを選択する。)

(ただし検索結果は、対象病名直下の層のデータだけが取得できるので、それ以前のツリー情報はコントロール側で保持しておく必要がある。)

- ・ツリーの表示名称は修飾語表記とする。
 - ・名称表示のフォーマットは、プロパティの状態により決定される。
- ダブルクリックされた修飾語をセレクション状態にする。

4.16 修飾語キーワード検索ビュー

4.16.1. コントロール構成



4.16.2. コントロール設定

コントロール	属性	値(単位 twip)
ListView	高さ	3015
ListView	幅	4905

4.16.3. イベント一覧

項番	イベント	アプリ イベント名	処理
1	ListViewDbClick	DbClick	アプリイベントを投げる。
2	ListViewClick	Click	修飾語の修飾語 ID を PrStrModifierResultID に設定する。 アプリイベントを投げる。

4.16.4. ListViewSearch

病名基本 DB アクセスの SearchModifierKeyword を呼び出す。

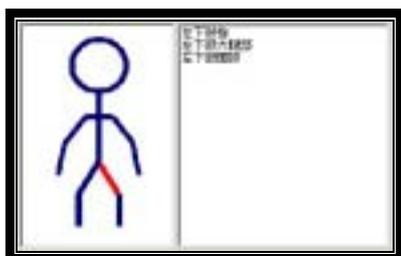
修飾語表記を表示する。

・件数超 = True の場合

最下行に「x件以上データがあります。」を表示する。(x は最大検索件数)

4.17 修飾語部位検索ビュー

4.17.1. コントロール構成



4.17.2. コントロール設定

コントロール	属性	値(単位 twip)
ListView	高さ	3120
ListView	幅	2790
Image	高さ	3120
Image	幅	2145

4.17.3. イベント一覧

項番	イベント	アプリ イベント名	処理
1	ListViewDbClick	DbClick	アプリイベントを投げる。
2	ListViewClick	Click	修飾語の修飾語 ID を PrStrModifierResultID に設定する。 アプリイベントを投げる。
3	ImageDbClick	ImageDbClick	アプリイベントを投げる。
4	ImageClick	ImageClick	ImageChange を呼び出す。 PrStrConnective に部位 (L,R または N) を設定する。 アプリイベントを投げる。

4.17.4. ImageChange

エリア情報から該当のエリアの修飾語区分を取り出す。

取り出した修飾語区分には「右」「左」「その他」を表す「L」「R」「N」が文字列の先頭に設定されているため、その文字(以下区分文字とする)を除いた修飾語区分で病名 DB 基本アクセスの SearchPartModifier を呼び出す。

検索結果に先ほど取り除いた区分文字を評価し「L」の場合は、検索結果の各修飾語表記の先頭に「左」を付加する。「R」の場合は「右」を付加し、「N」の場合は付加しない。

4.18 基本修飾語パネル

4.18.1. コントロール構成



4.18.2. コントロール設定

コントロール	属性	値(単位 twip)
RightButton	高さ	375
RightButton	幅	1155
LeftButton	高さ	375
LeftButton	幅	1155
BothButton	高さ	375
BothButton	幅	1155

4.18.3. イベント一覧

項番	イベント	アプリ イベント名	処理
1	RightButtonClick	RightButtonClick	アプリイベントを投げる。
2	LeftButtonClick	LeftButtonClick	アプリイベントを投げる。
3	BothButtonClick	BothButtonClick	アプリイベントを投げる。

5 改訂履歴

バージョン	第0.2版
作成者	熊澤 祐輔
年月日	2001 / 5 / 21
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・第2.1章 ATLの使用を前提としていたが、MFCのみで作成に変更 ・第4.6章 コントロールのFont設定の「TreeView、Imageは設定不可」から「ImageViewは設定不可」に変更(TreeViewは設定可能)

バージョン	第0.3版
改訂者	熊澤 祐輔
年月日	2001 / 5 / 23
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・4.9.3 章 SearchDisease を SearchDiseaseKeyword に変更 件数超 = True の場合の処理を追記 ・4.10.3 章 SearchDisease を SearchDiseaseKeyword に変更 件数超 = True の場合の処理を追記 ・4.11.3 章 SearchDisease を SearchRecembleDisease に変更 ・4.15.3 章 SearchModifier を SearchModifierKeyword に変更 件数超 = True の場合の処理を追記 ・4.12.16 章 の処理を追記 ・4.7 章 4.7 章としてコントロール単位に関する記述を追加。以降の章は1章ずつスライドさせた。 ・4.9 章～4.18 章 コントロール設定の章を追加

バージョン	第0.4版
改訂者	熊澤 祐輔
年月日	2001 / 5 / 24
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・4.13.4 章 コントロール設定に設定属性を追加

バージョン	第0.5版
改訂者	熊澤 祐輔
年月日	2001 / 6 / 6
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・4.12.4 章 「SearchDiseaseKeyword」から「SearchResembleDisease」に修正 ・4.15.3 章 誤記を修正 「ListViewxxx」 「TreeViewxxxx」 誤記を修正 項番3の「引数は必ず病名パス…」 「引数は必ず修飾語!D…」 ・2.2 章 ライブラリ名、クラス名を変更

バージョン	第 1.0 版
改訂者	熊澤 祐輔
年月日	2001 / 10 / 08
内容	初版

バージョン	第 1.1 版
改訂者	熊澤 祐輔
年月日	2002 / 02 / 06
内容	4.17.4章 の処理で呼び出すメソッド名を修正

バージョン	第 1.2 版
改訂者	熊澤 祐輔
年月日	2002 / 02 / 27
内容	4.9.3章、4.15.3章 イベント一覧リストに新規イベント Keydown を追加